

良知しゅんいち 活動報告



第11号

ご挨拶

いつも大変お世話になっております。浜松市浜名区(旧北区)選出、2期目の県議会議員の良知駿一です。

浜松市の区再編後、初の活動報告となります。

改めましてご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

さて、今年度は暖冬で観測史上最高の気温を記録した日もありました。一方で厳しい寒さが続いた時期もあり、気温差による体調を崩された方もいらっしゃるかと思います。未だインフルエンザや新型コロナへの感染も落ち着いた状況ですので、くれぐれもお体に気を付けてお過ごしください。

今回のご報告は2月定例会までになります。ご一読いただければ幸いです。

議員1期目の取り組み

私は前職ではIT企業で研究開発に携わっており、その経験を生かして「技術によって社会課題を解決する」という観点で活動してきました。

改めて1期目の県全体に関わる取り組みの一部をご紹介します。

その取り組みは「三次元点群データの活用推進」です。

本県における三次元点群データとは、端的に言えば県土を3Dスキャンしたものです。

このデータは、無人航空機や車両などに搭載されている機材から無数のレーザーを発射し、物体に当たって反射された時間からその物体の位置の座標を計測することで収集されます。計測された1点の座標データには「緯度、経度、標高、色」のような情報が入っており、5000億点以上の座標データで県土を表現しています。

本県で取得した三次元点群データは、災害対応やシミュレーション・自動運転バスへの導入など、様々な場面で用いられており、その活用は全国の自治体の中でも最先端を走っています。

今後の静岡県の政策立案のデジタル基盤の1つとなりますので、ぜひ注目していただければと思います。

※三次元点群データはオープンデータとして一般公開されており、どなたでもご利用できます。ご興味のある方は「静岡県 三次元点群データ」で検索してみてください。(イメージ動画もあります)

事務所のご案内



〒431-1304
静岡県浜松市浜名区細江町中川1717-698
ラトゥール101

静岡県議会議員

良知しゅんいち事務所

連絡先

TEL : 053-523-7400
FAX : 053-523-7401

Mail : rachi0814@gmail.com
URL : https://rachi-shunichi.jp/

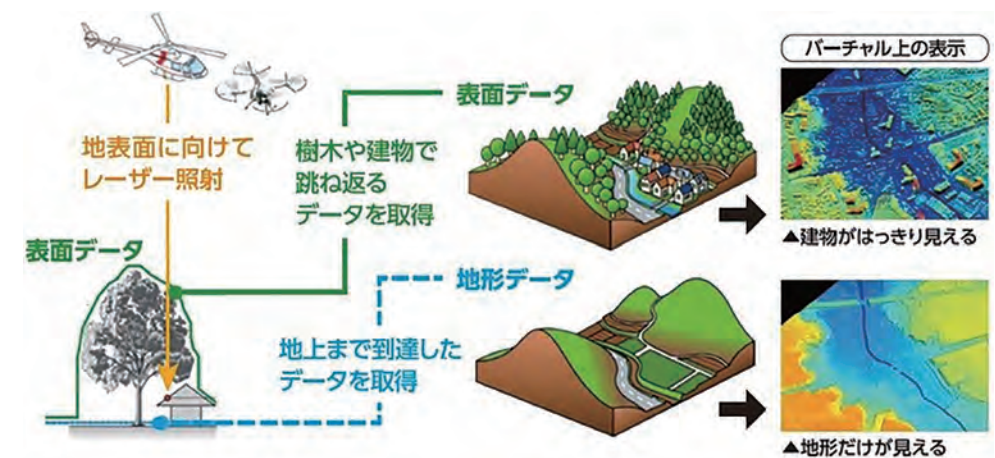
PROFILE

1982年 ● 8月14日生まれ
1995年 ● 気賀小学校 卒業
1998年 ● 細江中学校 卒業
2001年 ● 浜松商業高校 情報処理科 卒業
2005年 ● 静岡大学 情報学部 卒業
2007年 ● 静岡大学大学院 情報学研究科 修了
2018年 ● 株式会社 株式会社 退社

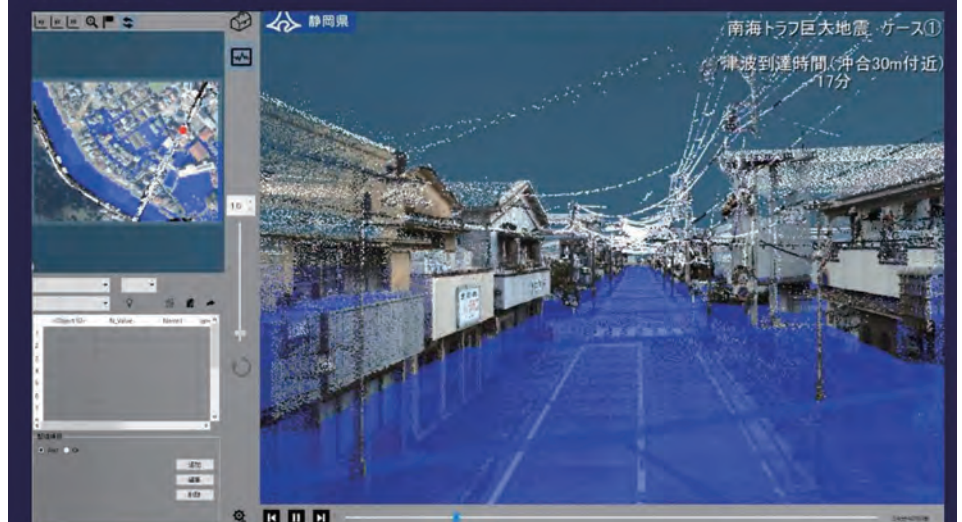
2019年 ● 静岡県議会議員 初当選
(浜松市北区(現浜名区)選出:現在2期目)

● 役職歴 総務・産業・厚生委員会副委員長、日印友好議員連盟事務局長 等

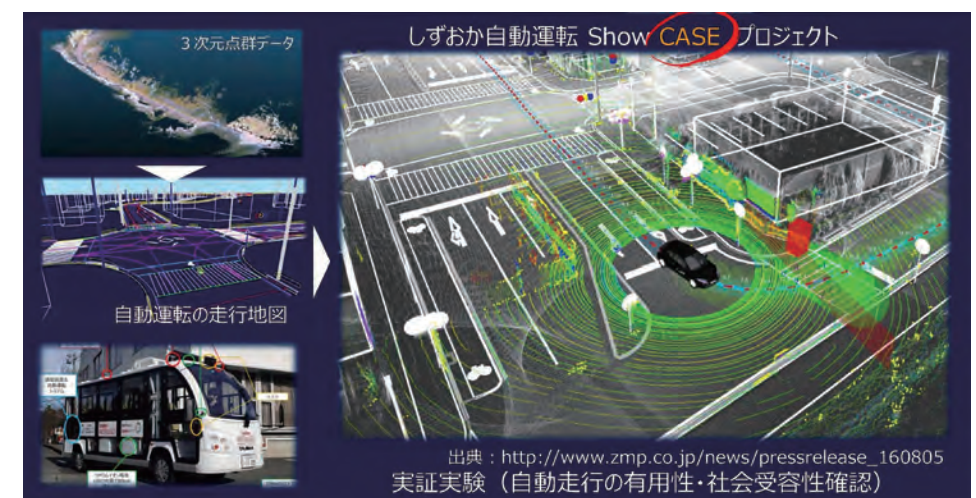
● 社会活動
浜松市消防団北支団第1方面隊細江第4分団 分団員
細江町まちづくり協議会 顧問
浜松市子ども会連合会北区支部 顧問
静岡県の子どもの多様性を拓くプロジェクト 顧問 等



津波浸水シミュレーション (静岡県河津町)



時系列での津波シミュレーションを再現



しずおか自動運転 Show CASE プロジェクト

出典 : http://www.zmp.co.jp/news/pressrelease_160805
実証実験 (自動走行の有用性・社会受容性確認)

12月定例会・一般質問

令和5年12月定例会において、私の一般質問の機会がありました。一部紹介させていただきます。

避難に資する情報の精度向上について

Q

令和5年6月の豪雨において、土砂災害にて引佐町の方が亡くなった。避難指示の影響力の弱さを痛感した。

これまでの調査によると、避難指示が発出されても「自宅は大丈夫だ」という根拠のない正常性バイアスが働くことが分かっている。

この現象は、避難に資する情報の精度が低いことが原因の一つかと考えている。

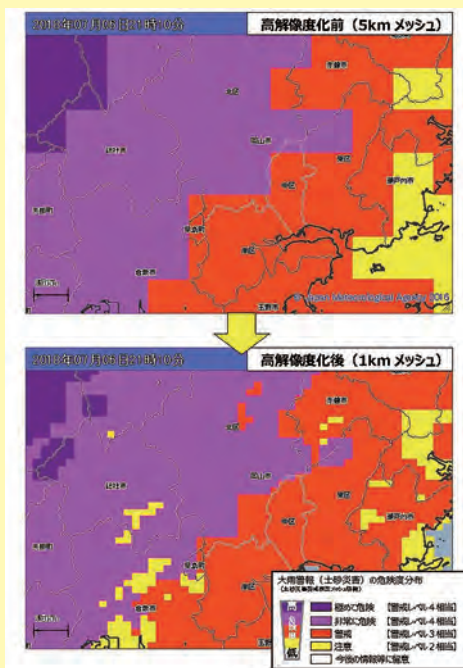
これまでの避難指示の空振りによって、住民はこの指示は狼少年的なものであると捉え、避難行動に繋がらないと考えている。仮にこの避難に資する情報の精度が100%、つまり避難指示が出された地区は必ず被災するとなれば、指示を知った住民はほぼ全員避難するのではないだろうか。

そこで、例えば県が気象庁とともに共同発表する土砂災害警戒情報など、避難に資する情報の精度向上のための取組について伺う。

A

土砂災害警戒情報について、今年度は有識者や静岡地方気象台等と検討を重ね、予測対象範囲をそれまでの5kmメッシュから1kmメッシュに細分化した。これにより「空振り」の改善が見込まれることから、令和6年度から運用する予定である。

洪水予報については、県下322か所の観測地点の水位データの蓄積を継続しており、水位上昇などの河川ごとの流出特性を分析し、水位予測の精度向上につなげていく。また、現在、国が進めている水位予測等の技術開発に注視し、県管理河川への導入を検討していく。(交通基盤部長)



他にも、

- 「浜名湖花博2024における来場促進の取組について」
 - 「これからの人とコンピューターが共存する社会に向けた探究学習の推進について」
- 等について質問しました。



厚生委員会

令和5年度、副委員長を務めた厚生委員会での質疑を一部紹介します。

不妊治療の対象について(12月定例会)

Q

社会の変化によって不妊治療を受ける私と同世代の女性も多い。不妊治療が保険適用されることによって県の不妊治療に対する助成は無くなったが、例えば保険適用外の43歳以上で妊娠の見込みがある方には助成する、などの対応はできないのか。また、東京都は卵子凍結に対する助成を行っているが本県の考えは？

A

保険適用の43歳という基準については、医学的なエビデンスに基づいており妥当と考えている。更なるエビデンスが出てきた際には県として適切に対応する。卵子凍結については身体へのリスクの懸念があるため、技術の進歩を注視していく。(こども家庭課長)

→令和6年度から不妊治療における先進医療(保険適用外分)について費用を一部助成へ

他にも、

- 「聴覚障害児に対して支給している補装具費の増額について(9月定例会)」
- 「男性が産後の育児に悩んだ際の助言・サポート体制について(2月定例会)」等について質問しました。

地域公共交通対策特別委員会における提言

私も浜松市民として感じていることは、特に通退勤時間帯の渋滞のひどさです。静岡県庁には新東名高速道路を使って向かいますが、これはバスを使って浜松駅に到着する時間で静岡市に到着することも珍しくないからです。渋滞は大きな時間の損失であり、近年では二酸化炭素の排出も問題視されています。

反対に、中山間地では交通弱者と呼ばれる高齢者や学生など自動車の運転ができない方々の移動の手段が無く(交通空白地)、様々なご相談を受けてきたところ です。

その両極端の課題に対して、公共交通の活用は必須であると日々考えてきました。

令和5年度は地域公共交通対策特別委員会の委員として議論をかわし、先日、委員会として県に提言しました。

その提言において、私が是が非でも入れたかった内容は「公共交通の存続を収支だけではなく、まちづくりという大きな視点で考えるべき」ということです。単純なことではありませんが、実践できている地方は多くはありません。各県内市町は誰もが住みやすい街に向けて適切に公共交通機関を取り入れ、県は提言に基づきその支援をしていくことを切に望みます。

県議会の
中継
・
会議録



お知らせ

お話しませんか？

私と1~数人でお話しませんか？
内容はなんでも結構です。身の回りの困りごとやご相談、私のこれからの社会に対する考えなど…
お話の場を通じて政策へのひらめきが生まれることもありますので、ぜひお気軽にご連絡ください！
事務所への電話やメール、ホームページからの問い合わせなど、ご連絡方法は問いません。(連絡先は表面)



ラジオで県政情報を発信しています。

4月から曜日が変わります！

番組名 KENGI DE Night ! **放送局** FM Haro! (76.1MHz)
担当 榎 第1月曜日 19時30分~20時00分